

**■161210-11 子ども環境学会 熊本子ども成育環境状況調査**  
 2016.12.20 佐久間治(震災復興支援活動部会会長)・石橋凌・今井智也(九州工業大学)

■調査予定  
 現在、熊本地震発生から約8ヶ月が経過し、特に被害の大きいとされる益城町、南阿蘇西原村等では、徐々に瓦礫の処理が進んでいるように見られたが、まだ、復興には時間を要しそうな箇所も見られた。被災地での子どもたちの生活環境は、幼稚園、保育園についてはかなり回復してほぼ正常時に近くなっているが、住環境、特に仮設住宅等に暮らす子どもたちにとっては、団地にあそび場少ない、あっても、地元でない事情がわからず遠出等がしにくい、両親にもストレスがある等から、遊ぶ機会が減少し、彼らにもストレスがかかっていることを伺った。

そのような状況化、今回の子ども環境学会として、前回から引き続き、益城町第5保育所と益城町第2幼稚園でのアドバイス活動後の現状調査を行った。特に益城第五保育所仮設園舎については、こちらからの環境改善アドバイス後の、改善状況をヒヤリング、観察調査した。第2幼稚園については、こちらの環境改善の内、被災前の状態に戻す復旧レベルについては、予算がつき、年度内施工予定であるが、それ以上については、市全体の復興予算に限度があり、短期的実施は難しいとのことだった。また、現在、パイロット版として、作成した『(仮)あそび環境改善のアドバイスブック(対保育・幼稚園版、対両親版)』を仮配布し、それらに対する意見を当日伺うと共に、後日、フィードバックしていただくことをお願いした。

また、日本冒険あそび場づくり協会・尚綱大学名誉教授の濱崎幸夫先生にも、現状の子どもたちの状況、関連支援活動の状況、について伺うと共に、子ども環境学会のあそび環境改善活動の説明、『(仮)あそび環境改善のアドバイスブック(対保育・幼稚園版、対両親版)』の説明を行い、今後へのアドバイスを伺った。

『(仮)あそび環境改善のアドバイスブック(対保育・幼稚園版、対両親版)』の最終版については、全般として有効であるというご意見が多かった。また、保育士側からは、理想だけでなく、現状の様々な状況(例えば、狭い場所での展開事例等...)での対応事例を知りたい等の意見があった。そして、対両親版を仮設住宅みんなの家に配布するという考えは効果的ではないかという意見も多かった。

また、それに加えて、KASEI(建築学生仮設住宅環境改善支援)での支援活動も兼ねて、益城町にある飯野仮設団地と安永仮設団地で、それぞれの自治会長の方と意見交換を行った。その中でも、飯野仮設団地では子どものあそび場をつくって欲しいという意見があり、今後、KASEIの活動としても検討していきたい。

**12月10日**

時間	内容	場所	住所	電話	受入先	参加・同行
11:00 ~ 12:30	■益城町仮設第5保育所 意見交換	益城町仮設第五保育所	上益城郡益城町福岡1043(上益城郡益城町木山236)	096-286-2263	楢木野園長	佐久間 今井 石橋
14:00 ~ 15:00	■益城町第2幼稚園 意見交換	園長室	上益城郡益城町野嶺1471	096-286-2055	福永園長	佐久間 今井 石橋
15:00 ~ 16:30	■益城町飯野小仮設団地生活環境現地踏査	飯野小応急仮設住宅団地+みんなの家			草野自治会長	佐久間 今井 石橋
16:30 ~ 17:30	■益城町安永仮設団地生活環境現地踏査	安永応急仮設住宅団地+みんなの家			橋本自治会長	佐久間 今井 石橋

**12月11日**

9:00 ~ 10:30	■日本冒険あそび場づくり協会意見交換	熊本市内ジョイフル武蔵ヶ丘店			尚綱大学 濱崎幸夫先生	佐久間 今井 石橋
11:30-12:30	■益城町木山仮設団地生活環境現地踏査		熊本学園大学 金山龍之介君			佐久間 今井 石橋
13:00-14:00	■益城町テクノ仮設団地生活環境現地踏査		熊本学園大学 おひさまカフェ代表 原田葉良君			佐久間 今井 石橋
16:00 ~ 19:00	■KASEI実行委員会	熊本大学	熊本市中央区黒髪2丁目2-39-1		KASEI実行委員	今井 石橋